

H27.4.17.

6

2014-15年度国際ロータリー会長の黄其光氏
(右)と記念撮影する筆者



日本では新学期となり忙しいときですね。こちらの新学期は8月なのでもう少し先ですが、その時にはもう自分はいないのだと思うと、また悲しくなってきました…。さて今月もロータリーのイベントがありました。今回は特に大きなイベントで2日間にかけて

伊藤 香織

イベントが特別なのかといふと、台北から国際ロータリー会長の黄其光氏がこの年、オーランドを訪問されたからです。毎年訪問されているわけですが、それでも良いと私自身は思いました。挑戦することに意味があるのでと思っておりました。この日が2日目にはドラゴンボートレースが行われ、私はいつもいましたが、この

世界のつながりつくる

(鳥取県湯梨浜町出身、
アメリカ留学中)

機に知り合えて本当に良かったです。私はロータリーの交換留学生でいることで、多くのイベントへ行く機会があり、積極的に参加するようにしています。参加すれば仲間との絆を深められたり、多くの出会いがあります。なぜこのイベントが特別なのかと、たのも一緒にチームを組み大会に臨みました。大人数が息を合わせて舟をこぐというものでチームワークが大切です。大会が進むにつれてお互いが決に向かっているのだと感じます。ロータリークラブのように世界のつながりを生かしてさまざまな活動ができる団体はこれからも重要で、私たち交換留学生はその基本的世界のつながりをつくるための役目があるのだと思いました。

2014-15年度国際ロータリー会長の黄其光氏

交換留学生の役目

ポリオによりて苦しむ人々が多く、ロータリークラブは支援活動を行っているそうです。特にアフリカで感染が拡大しているのですが、積極的な活動により、その数がゼロへ近づいていることを知りました。

こういった問題は簡単に解決することではない抗がありますが、それはそれで良いと私自身は思っています。挑戦することに意味があるのでと思っておりました。この日が2日目にはドラゴンボートレースが行われ、私はいつもいましたが、この